

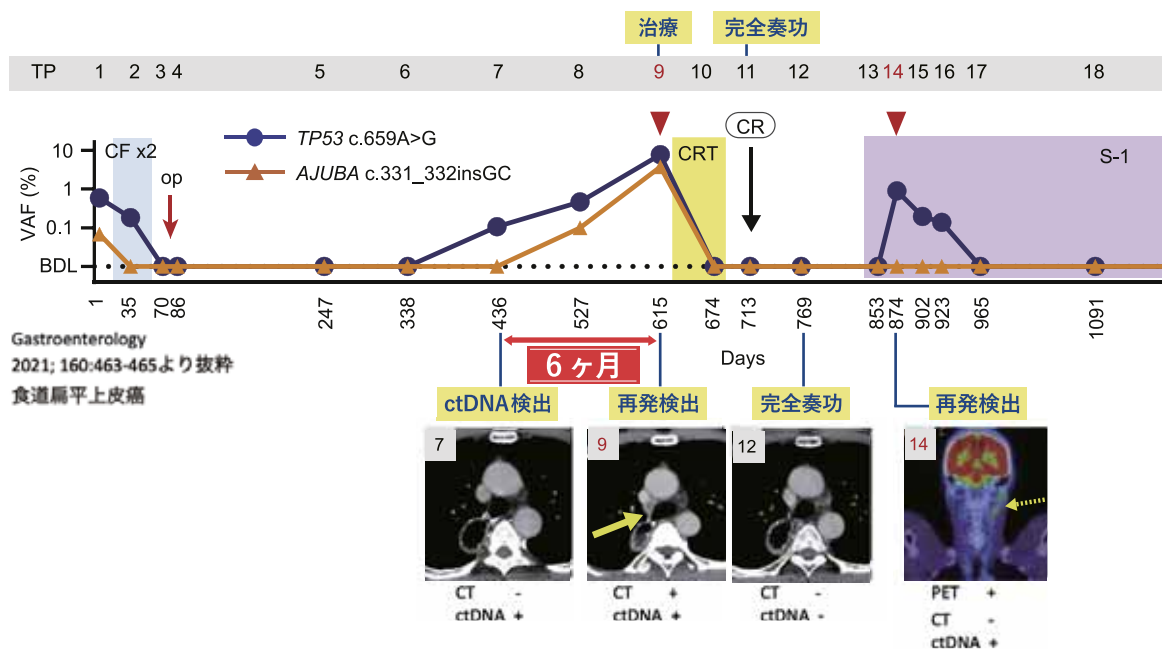
OTSプローブ・デジタルPCR

ctDNAを使ったがん再発早期検出
モニタリングへの活用

OTSプローブはデジタルPCRにより血漿中のがん由来DNA(ctDNA)を高感度に検出します。血漿中には正常細胞由来と癌細胞由来の循環DNA(cfDNA)が混在していますが、OTSプローブは採血管1本分の血漿から得られたcfDNAに存在する0.1%のがん細胞由来ctDNAを検出することができます。ctDNA量の変動をモニタリングすることで、画像診断より数ヶ月早くがんの再発を検出することができますと言われていています。より早い段階でがん再発を検出することで、早期に治療を開始することが可能となります。

画像診断より3-6ヶ月早くがんの再発を検知

食道がん患者を対象とした臨床研究でctDNAの変動をOTSプローブを使ってモニターしました。その結果、血漿中のがん由来遺伝子の変異頻度の上昇が、画像診断における病変検出より早く認められることが確認されました。OTSプローブはがんの状況を知る上で有用なツールであることが示唆されました。

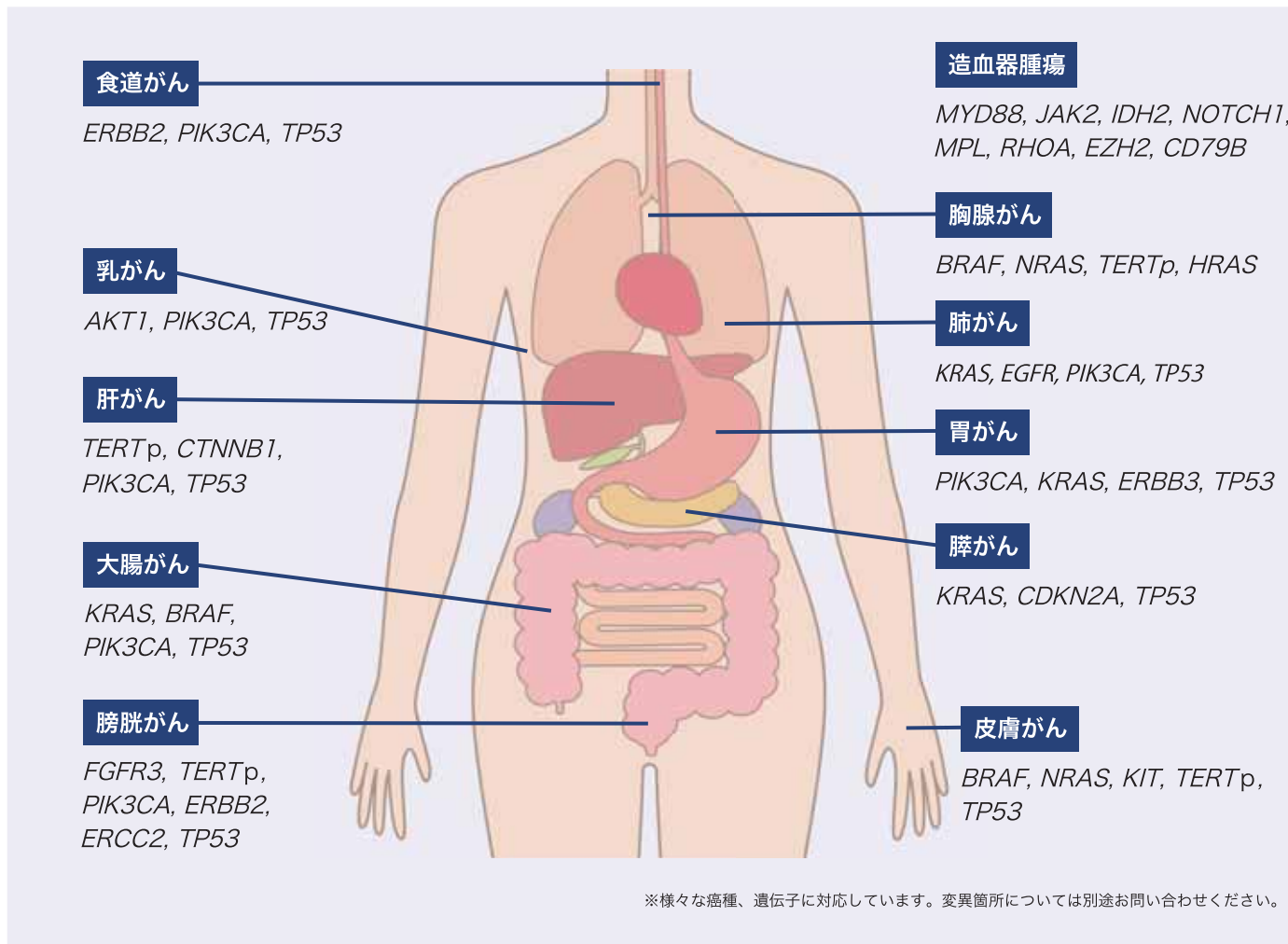


血漿中ctDNA はがん発生状況を反映

がんの特異的なDNA変異モニタリングによって見られるctDNA量の変動は、既存のがんマーカー(SCC, CYFRA, CEA)に比べ、より密接にがん細胞の増減を反映していることが示唆されています。ctDNA はがん再発時に検出され、治療効果が見られれば速やかに消失することから、ctDNA量の変動は臨床的に得られた情報と高い相関があると考えられます。OTSプローブはがんの動態を知る上で、有用な解析ツールであると期待されています。

デジタルPCR向け臓器別ターゲットプライマー

各腫瘍に高頻度で検出される変異に対応した検証済プライマー・プローブです。腫瘍で検出された1000種類以上の変異を検出するために設計されています。



OTS-Monitor 血中ctDNA 測定

NGSパネル（OTS-Select）で選定された遺伝子の変異を、デジタルPCRを使用してctDNAの変動をモニターするアッセイです。ctDNAの変動は、1%以下の低いアレル頻度からでも正確に検出できると言われている。本アッセイに使用する変異は1-2種類ですが、臨床情報を正確に反映することが確認されています。

製品名	製品コード
OTS-Lung	OTS-O-Lung
OTS-Pancreas	OTS-O-Pancreas
OTS-Breast	OTS-O-Breast
OTS-Esophagus	OTS-O-Esophagus
OTS-Stomach	OTS-O-Stomach
OTS-Colon	OTS-O-Colon
OTS-Liver	OTS-O-Liver
OTS-Bladder	OTS-Bladder
OTS-Skin	OTS-O-Skin
OTS-Hemato	OTS-O-Hemato

本試薬は研究用途のみを目的としています。診断用にはご使用いただけません。

Fin-QD_Flyer2_20240802

【製造販売元】

株式会社 クオントディテクト
〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-7-2 東京サンケイビル 27F
TEL: 03-3242-3146

【代理店】

フィンガルリンク株式会社 IVD 事業部
〒111-0041 東京都台東区元浅草 2-6-6 東京日産台東ビル 5F
TEL: 03-6802-7145